

令和 7 年度 調査研究事業

施設ケアマネジメントの現状と課題

千葉県介護支援専門員協議会 調査研究委員会

内容

目的.....	2
方法.....	2
1. 調査概要	2
2. 結果	3
3. 考察	9
4. 結語	9
資料.....	10

目的

施設ケアマネジャーの現状と課題を把握し、千葉県介護支援専門員が施設ケアマネジャーに対し支援すべき内容を検討する。

千葉県の介護保険施設等に勤務している介護支援専門員の業務実態や課題を把握し、今後の研修や支援の充実につなげることを目的としたアンケート調査を実施した。

方法

調査方法：WEB（Google フォームを使用）によるアンケート調査

実施期間：R8年1月30日（金）～2月27日（金）

周知方法：ホームページでの募集及び千葉県内の施設への調査参加依頼

対 象：会員の有無は問わず、介護老人福祉施設・介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など、介護支援専門員の配置が必要な施設等に従事している方

1. 調査概要

本調査は、介護支援専門員を対象として実施したアンケート（有効回答82件）のうち、居宅介護支援事業所を除く施設系回答76件を分析対象としたものである。

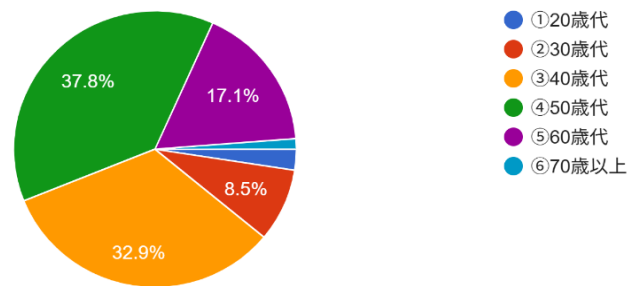
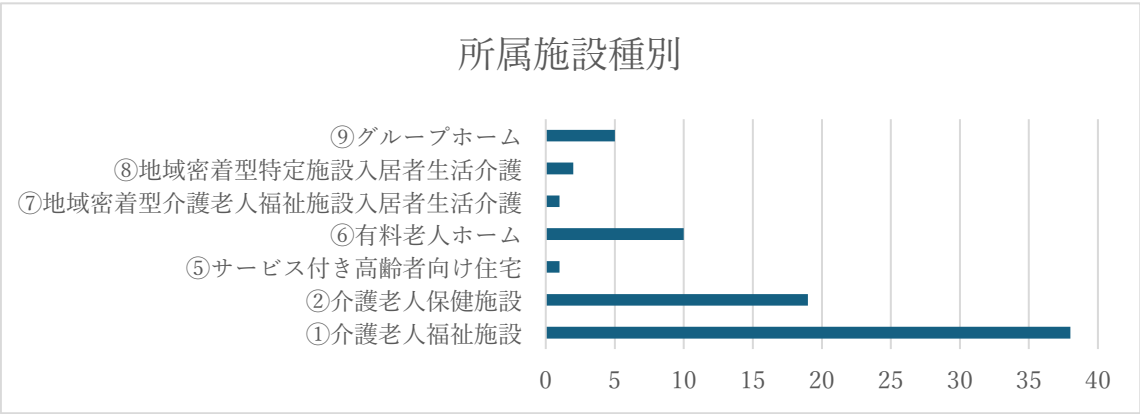
設問は全38項目で構成され、基本属性、業務実態、ケアマネジメント課題、研修ニーズ、ICT活用状況、制度に対する認識等について把握した。

2. 結果

(1) 基本属性（施設種別）

年代について該当する選択肢を1つ選択してください。（必須）

82 件の回答

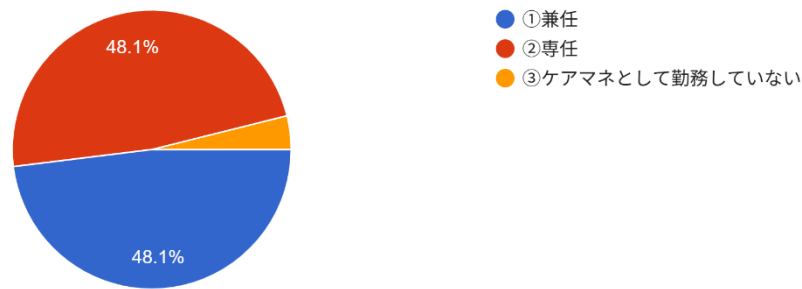


回答は特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等の入所系施設が大半を占めており、全体の約8割以上を構成している。

以下施設ケアマネのみの分析

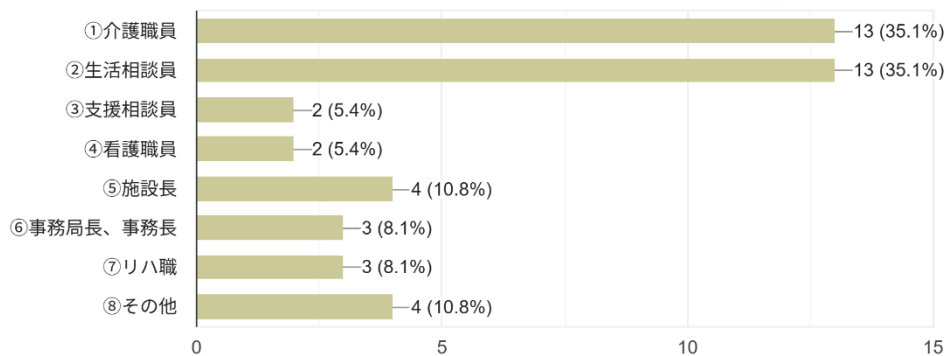
(2) 勤務形態（専従・兼務）

介護支援専門員としての勤務形態
77 件の回答



「兼任」を選択した方のみ、兼任の職種について、該当する選択肢を全て選んでください。（複数回答可）

37 件の回答



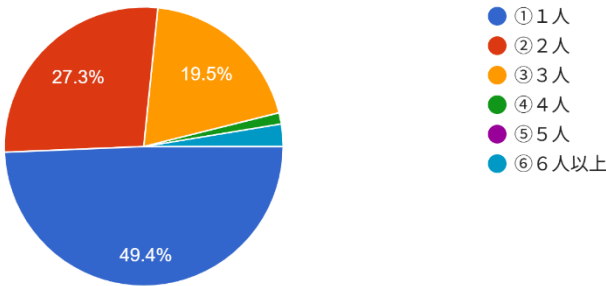
「兼任」を選択した方のみ、兼任の職種について該当する選択肢を全て選んでください。（複数回答可）	個数
①介護職員	10
①介護職員、②生活相談員	1
①介護職員、②生活相談員、⑧その他	1
①介護職員、⑤施設長	1
②生活相談員	10
②生活相談員、⑧その他	1
③支援相談員	2
④看護職員	1
④看護職員、⑤施設長	1
⑤施設長	1
⑥事務局長、事務長	2
⑥事務局長、事務長、⑦リハ職	1

⑦リハ職	2
⑧その他	2

兼務での従事が多数を占め、専従配置は全体の 3 割未満にとどまる傾向が見られた。

施設で介護支援専門員として勤務をしている人数について、該当する選択肢を 1 つ選んでください。

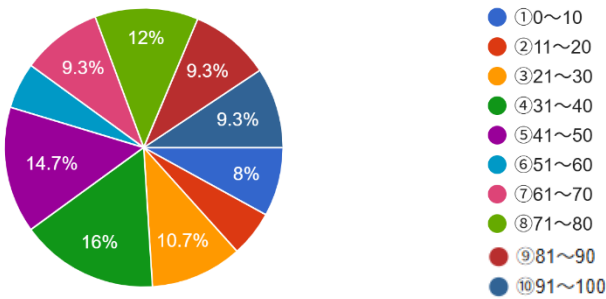
77 件の回答



(3) 業務実態

担当件数

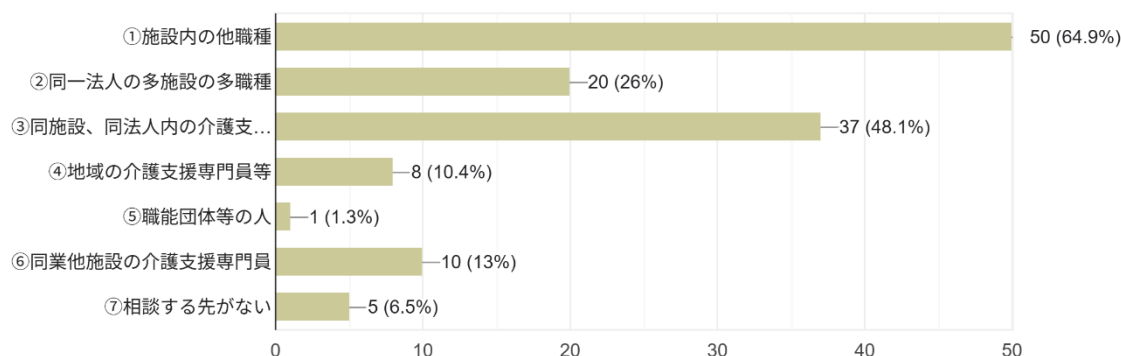
75 件の回答



業務はケアプラン作成に加え、書類作成、加算管理、多職種連携、家族対応等、多岐にわたる。特に「書類業務」「調整業務」の負担が大きいとの回答が多数を占めた。

業務で困ったことがあったときの相談先について、該当する選択肢選んでください。（複数回答可）

77件の回答



業務上の課題が生じた際の相談先としては、「施設内の他職種」（65.8%）および「同施設・同法人内の介護支援専門員」（47.4%）が中心であり、施設内の人的ネットワークに依存する傾向がみられた。一方で、地域の介護支援専門員や他施設の介護支援専門員との連携は限定的であり、施設介護支援専門員同士の横断的なネットワーク形成が十分とはいえない状況が示唆された。また、「相談する先がない」と回答した者も 6.6%存在しており、施設介護支援専門員の孤立防止に向けた相談体制や職能団体による支援体制の充実が求められる。

（４）ケアマネジメント課題

ケアマネジメントを取り巻く課題について、もっとも該当する選択肢を1つ選んでください。	回答数 (人数)	割合 (%)
①ACP の取り組みとケアマネジメントの連動が難しい	4	5.2
②インフォーマルサービスが乏しい	5	6.5
③本人の意思決定が難しい	12	15.6
④ケアプランが画一的になってしまう	29	37.7
⑤業務を振り返るツール、自己チェック表、自己点検表がない	4	5.2
⑥相談援助技術に自信がない	3	3.9
⑦相談相手がいない	4	5.2
⑧業務のため介護支援業務を行う時間が少ない	15	20.8

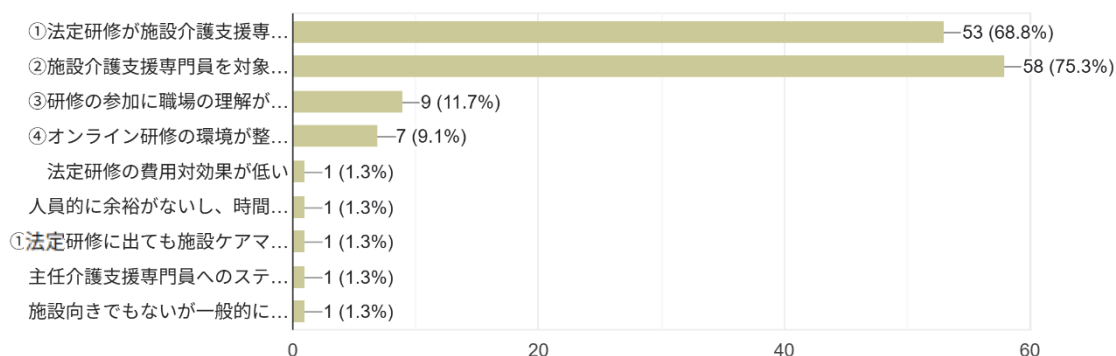
チームアプローチにおいて、課題と思われることについて、もっとも該当する選択肢を1つ選んでください。	回答数 (人数)	割合 (%)
①チームケアとしての課題	40	51.9
②家族と利用者の課題	17	22.1
③入退院を含めた医療連携の課題	5	6.5

④地域の関係性などの課題	8	11.7
⑤医療ケースにおいて、地域包括支援センターとの連携の課題	6	7.8

(5) 研修ニーズ

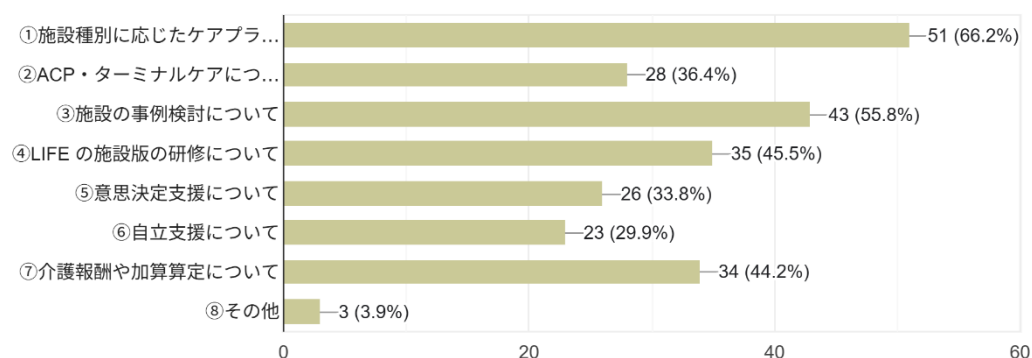
研修やスキルアップについて、あなたのお考えに該当する選択肢を全て選んでください。(複数選択可)

77件の回答



介護施設等に勤務する介護支援専門員に特化した研修で、受講したい内容の研修について、該当する選択肢を全て選んでください。(複数回答可)

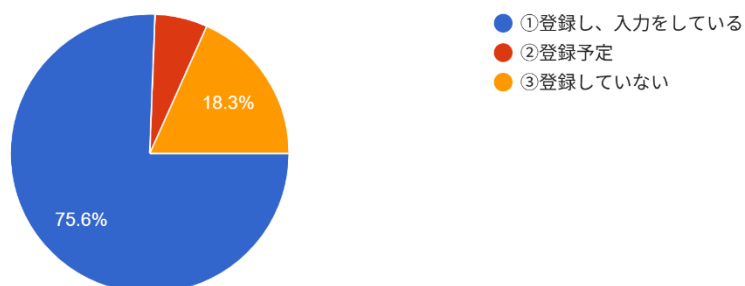
77件の回答



(6) ICT・LIFE 活用状況

事業所として『LIFE』の登録状況について、該当する選択肢を1つ選んでください。

82 件の回答



ICT は一定程度導入されているものの、「活用できている」と回答した割合は半数未満にとどまる。ICT は業務効率化に十分寄与しておらず、入力負担として認識されている側面が強い。

(7) 制度・加算に関する認識

「要件未達の場合に評価されない」「実態と乖離している」といった意見が多数を占め、否定的意見は全体の約 6～7 割に及ぶ。現行制度は現場実態を十分に反映しておらず、業務負担の増加要因となっている。

(8) 自由記述

自由記述の分類結果は以下の通りである。

- ・ 人員不足：約 8 割
- ・ 加算制度：約 6 割
- ・ 評価不足：約 5 割
- ・ ICT 負担：約 4 割
- ・ 制度乖離：約 4 割

3. 考察

本調査から、施設ケアマネジメントは業務の高度化・複雑化が進む一方で、それを支える人的体制および制度設計が不十分であることが明らかとなった。評価制度は形式要件中心であり、実践の質が十分に反映されていない。これにより現場のモチベーション低下および制度不信が生じている。さらに、研修制度についても実務との乖離が見られ、人材育成の実効性が十分に確保されていない。

4. 結語

施設ケアマネジメントは今後の介護提供体制において中核的役割を担うが、現状ではその機能を十分に発揮できる環境にはない。したがって、千葉県介護支援専門員協議会としては、個人支援に加え、組織・構造に働きかける支援が必要である。

重点的に実施すべき支援として看取りケアの実践や困難事例対応（認知症・家族対応）、施設特有の多職種連携・施設内調整（会議運営・意思決定支援）などについて施設ケアマネ特化研修の体系強化を求められている。さらに、スーパービジョン体制の構築、一説で使用しやすい実務ツールの提供（ケアプラン作成支援ツール・多職種連携シート・家族説明資料テンプレート・会議運営フォーマット）なども効果的である。さらに職能団体として、管理者・施設側への働きかけを行い、施設ケアマネの役割理解の促進や専従配置の重要性の周知業務分担の見直し提案なども有用である。そのほか、施設間ネットワークの構築や施設ケアマネ同士の情報交換、事例共有、施設ケアマネに特化した地域別連絡会などの場の提供も検討項目として考えられる。

施設ケアマネジメントに対する支援は、単なる研修提供にとどまらず、「実務支援」「組織への働きかけ」「ネットワーク構築」を一体的に進めることが重要である。

千葉県介護支援専門員協議会は、現場の実態に即した具体的支援を展開することで、施設ケアマネジメントの持続可能性向上に寄与することが期待される。

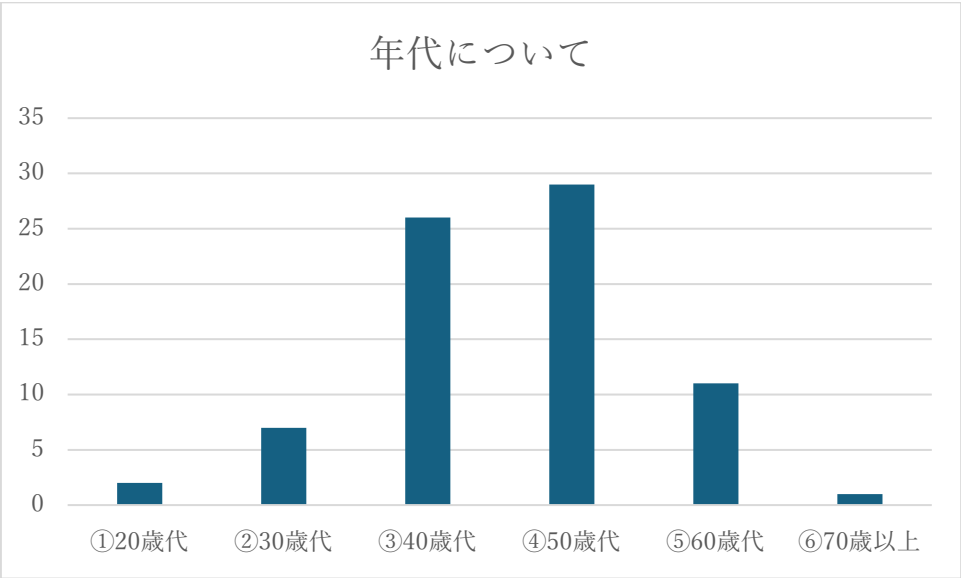
資料

資料目次

資料.....	10
年代について.....	11
千葉県介護支援専門員協議会の会員ですか.....	12
介護支援専門員としての実務経験年数.....	13
経験について.....	14
勤務地.....	16
所属施設種別.....	17
主として所属する施設の定員.....	17
施設の開設主体.....	18
主任介護支援専門員の取得状況について.....	19
介護支援専門員としての勤務形態.....	22
施設で介護支援専門員として勤務をしている人数について.....	24
担当件数.....	26
相談先.....	27
「施設ケアマネジメント実務の手引き」について.....	28
ケアマネジメントのプロセスで学びたいことについて.....	29
ケアマネジメントを取り巻く課題について.....	30
チームアプローチにおいて、課題と思われること.....	31
ICT の導入や活用.....	32
研修やスキルアップに関する課題（複数回答）.....	34
事業所として『LIFE』の登録状況.....	34

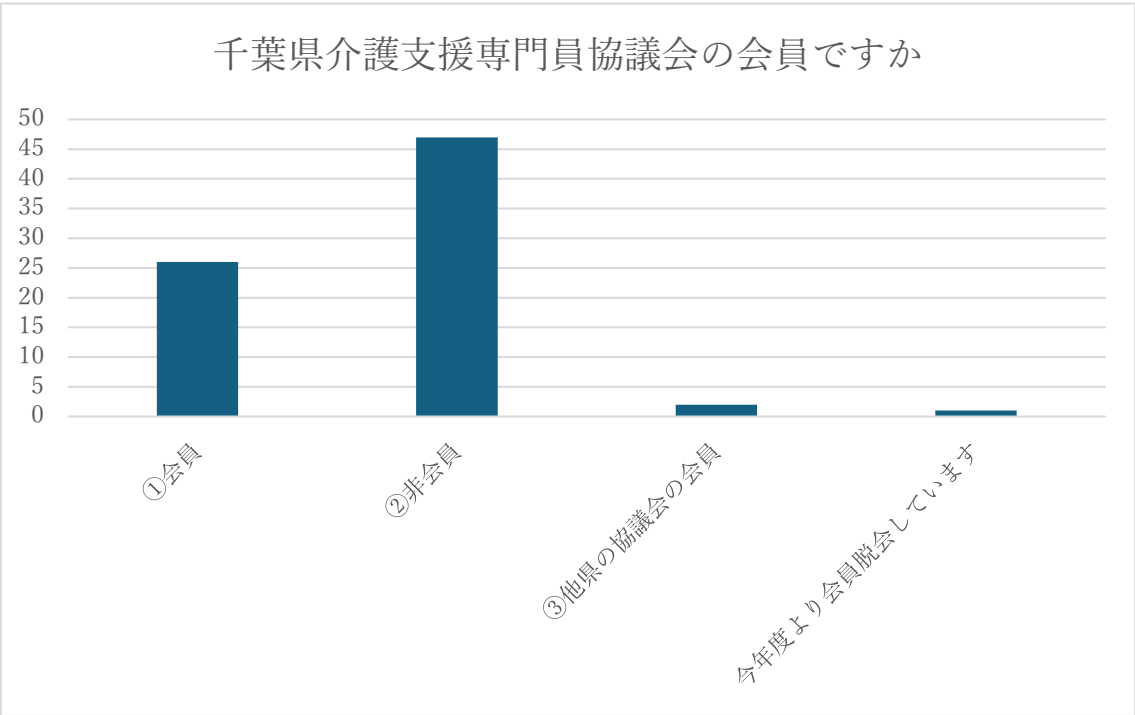
年代について該当する選択肢を 1 つ選択してください。(必須)

選択肢	回答数
①20 歳代	2
②30 歳代	7
③40 歳代	26
④50 歳代	29
⑤60 歳代	11
⑥70 歳以上	1



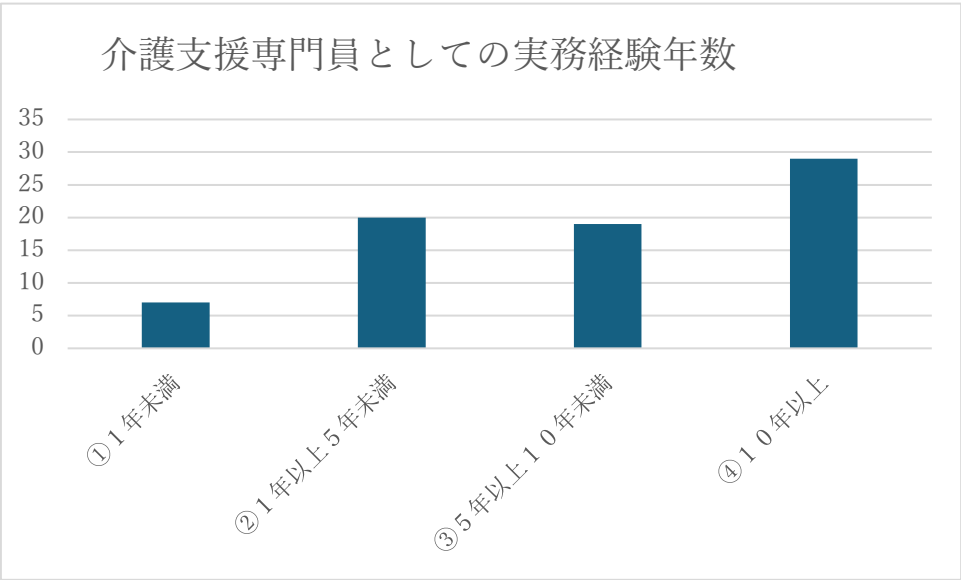
千葉県介護支援専門員協議会の会員ですか

選択肢	回答数
①会員	26
②非会員	47
③他県の協議会の会員	2
今年度より会員脱会しています	1



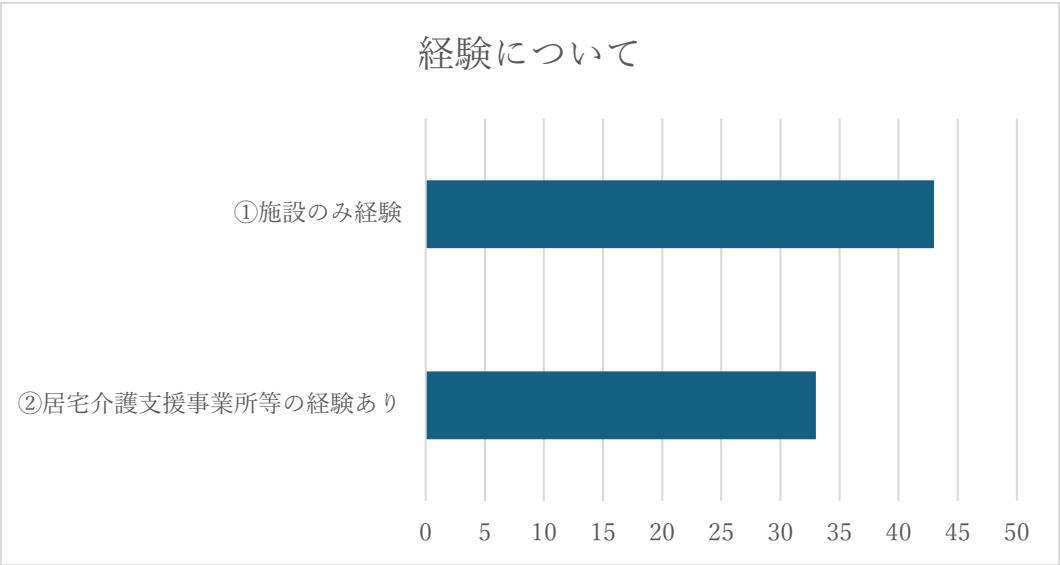
介護支援専門員としての実務経験年数

選択肢	回答数
① 1 年未満	7
② 1 年以上 5 年未満	20
③ 5 年以上 1 0 年未満	19
④ 1 0 年以上	29



経験について

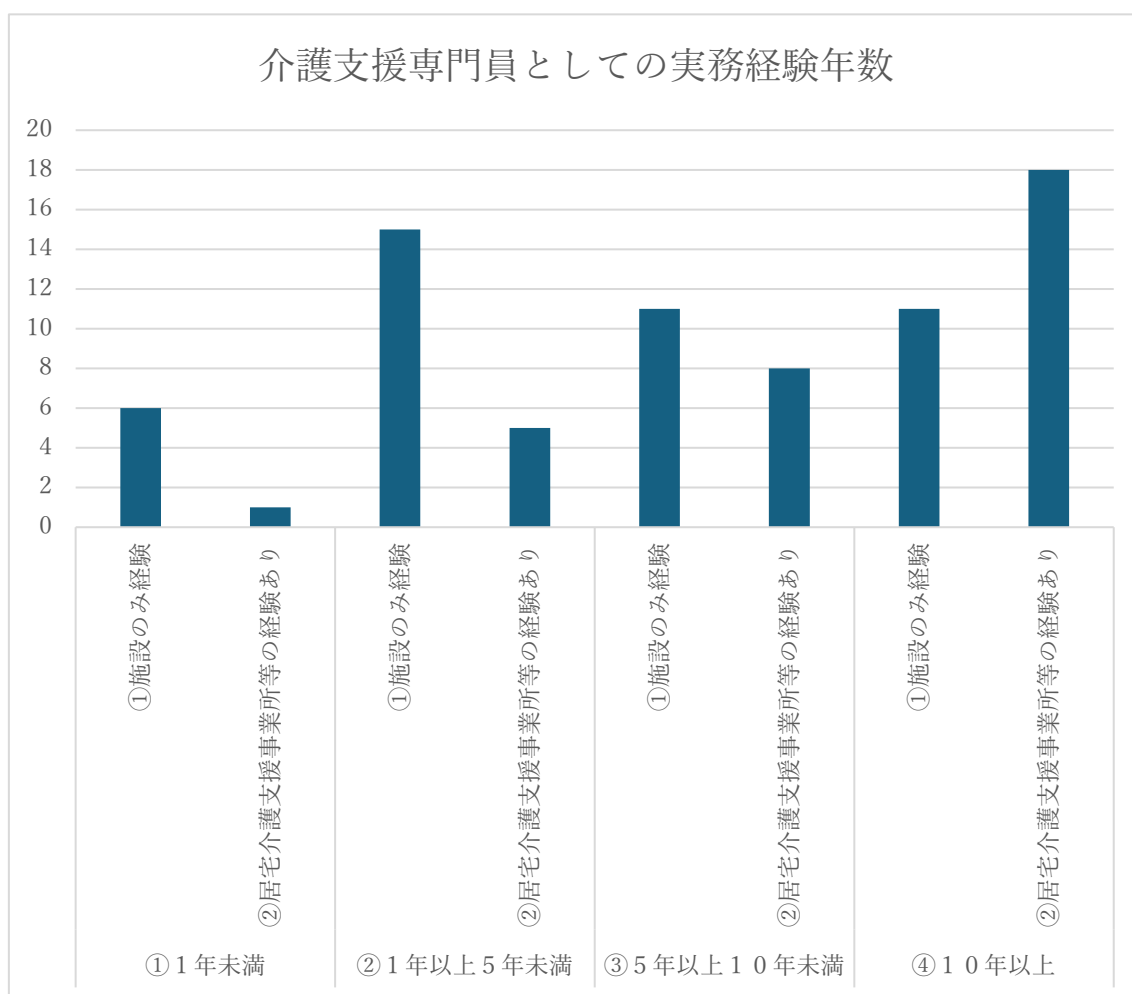
選択肢	回答数
①施設のみ経験	43
②居宅介護支援事業所等の経験あり	33



介護支援専門員としての実務経験年数

* 経験・介護支援専門員としての実務経験クロス集計

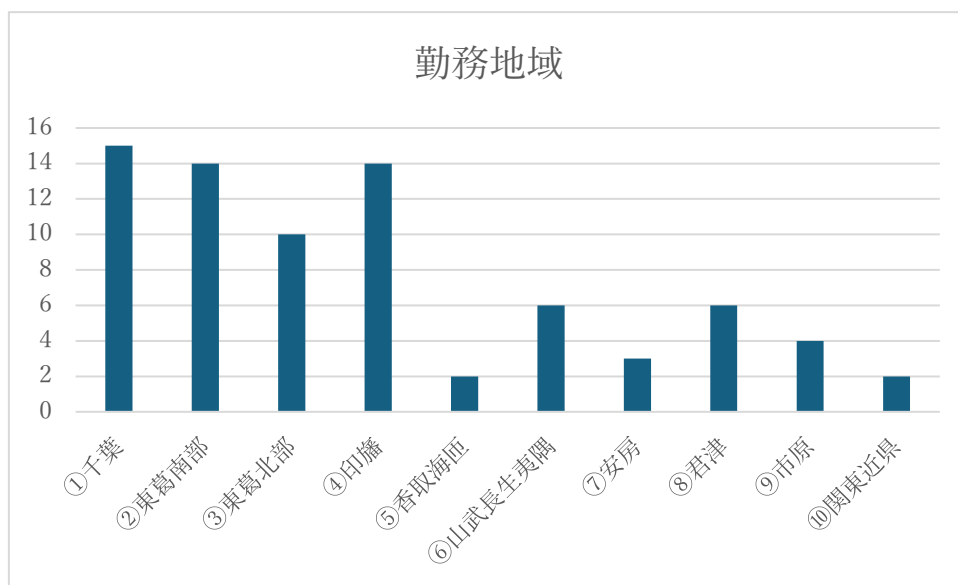
選択肢 1	選択肢 2	回答数
① 1 年未満	①施設のみ経験	6
	②居宅介護支援事業所等の経験あり	1
② 1 年以上 5 年未満	①施設のみ経験	15
	②居宅介護支援事業所等の経験あり	5
③ 5 年以上 1 0 年未満	①施設のみ経験	11
	②居宅介護支援事業所等の経験あり	8
④ 1 0 年以上	①施設のみ経験	11
	②居宅介護支援事業所等の経験あり	18



勤務地

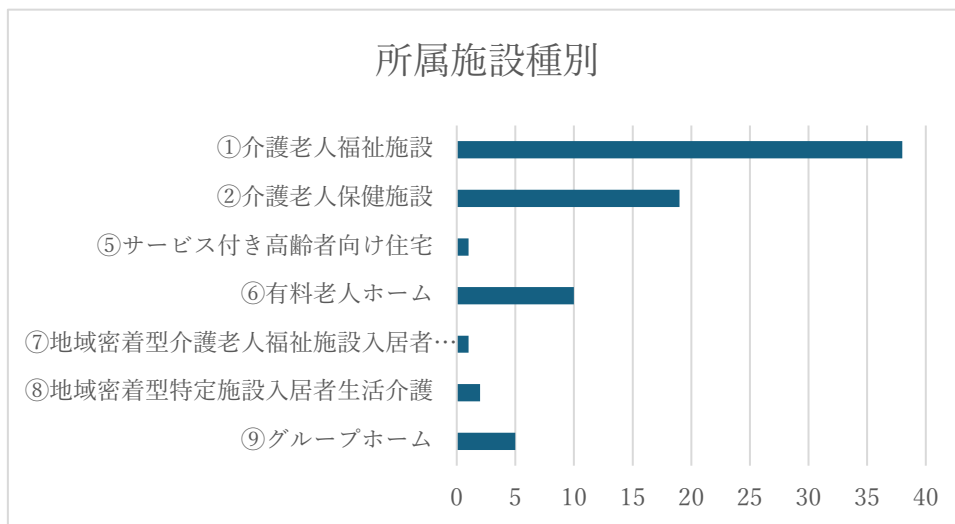
地区

選択肢	回答数
①千葉（千葉市）	15
②東葛南部（市川市、浦安市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、船橋市）	14
③東葛北部（野田市、松戸市、流山市、我孫子市、柏市）	10
④印旛（成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町）	14
⑤香取海匝（香取市、神崎町、多古町、東庄町、銚子市、旭市、匝瑳市）	2
⑥山武長生夷隅（東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町）	6
⑦安房（館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町）	3
⑧君津（木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市）	6
⑨市原（市原市）	4
⑩関東近県（東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県）	2



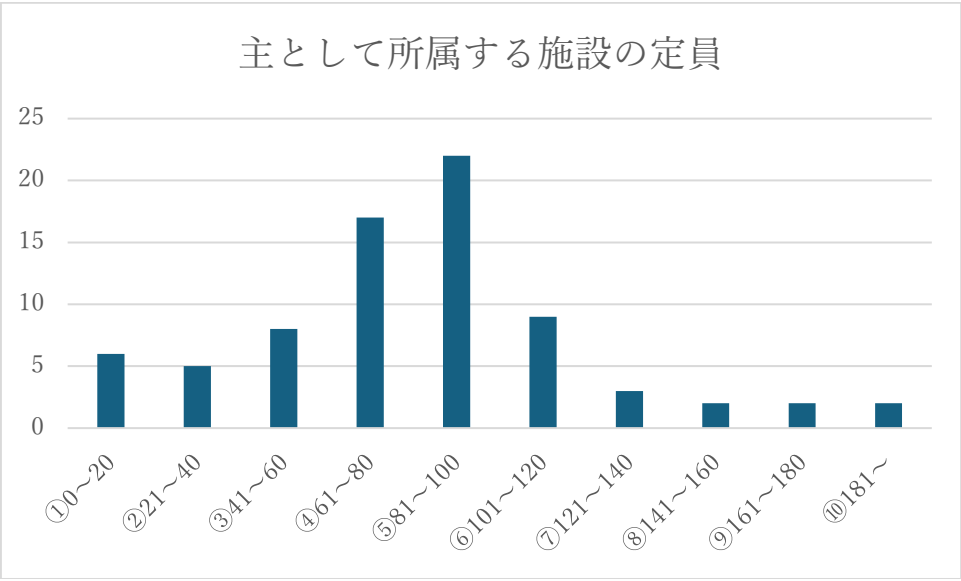
所属施設種別

選択肢	回答数
①介護老人福祉施設	38
②介護老人保健施設	19
⑤サービス付き高齢者向け住宅	1
⑥有料老人ホーム	10
⑦地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
⑧地域密着型特定施設入居者生活介護	2
⑨グループホーム	5



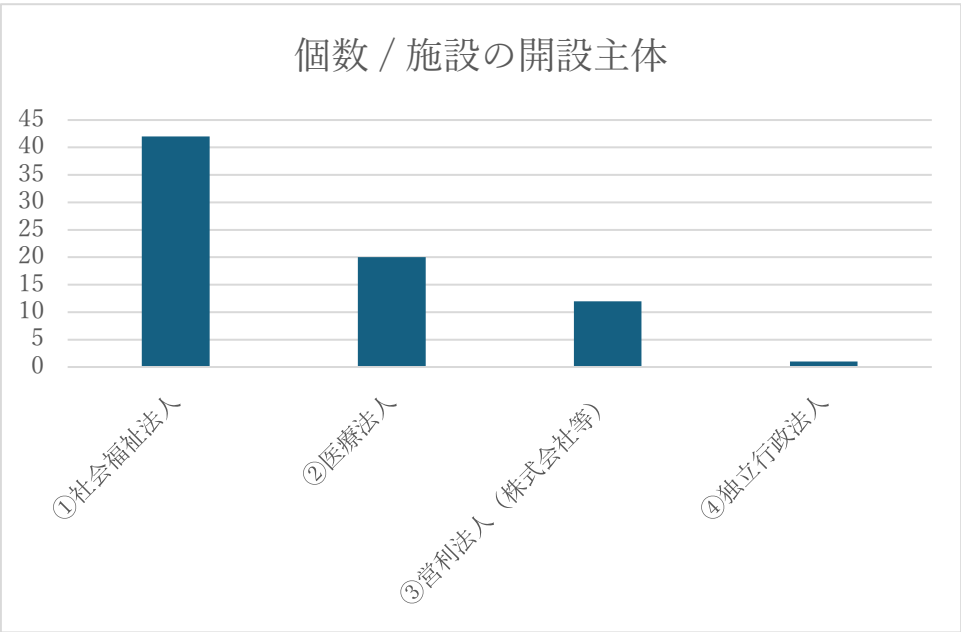
主として所属する施設の定員

選択肢	回答数
①0～20	6
②21～40	5
③41～60	8
④61～80	17
⑤81～100	22
⑥101～120	9
⑦121～140	3
⑧141～160	2
⑨161～180	2
⑩181～	2



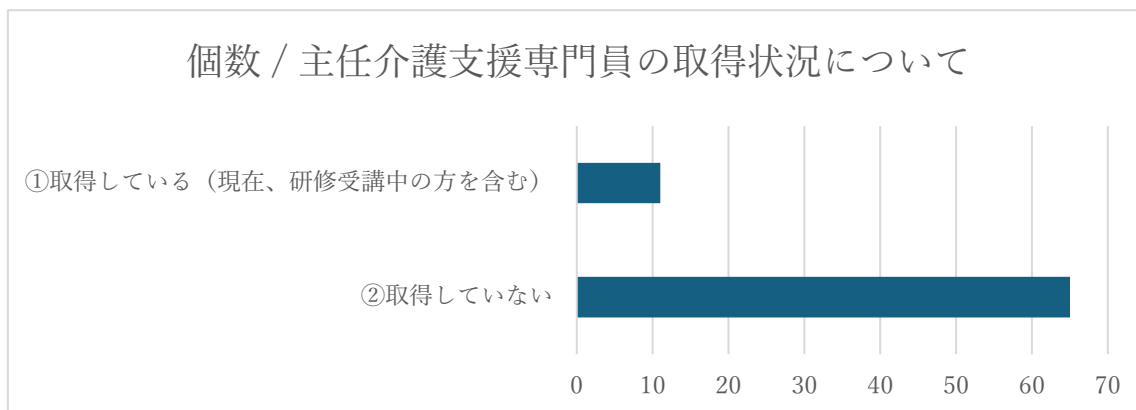
施設の開設主体

選択肢	回答数
①社会福祉法人	42
②医療法人	20
③営利法人（株式会社等）	12
独立行政法人	1



主任介護支援専門員の取得状況について

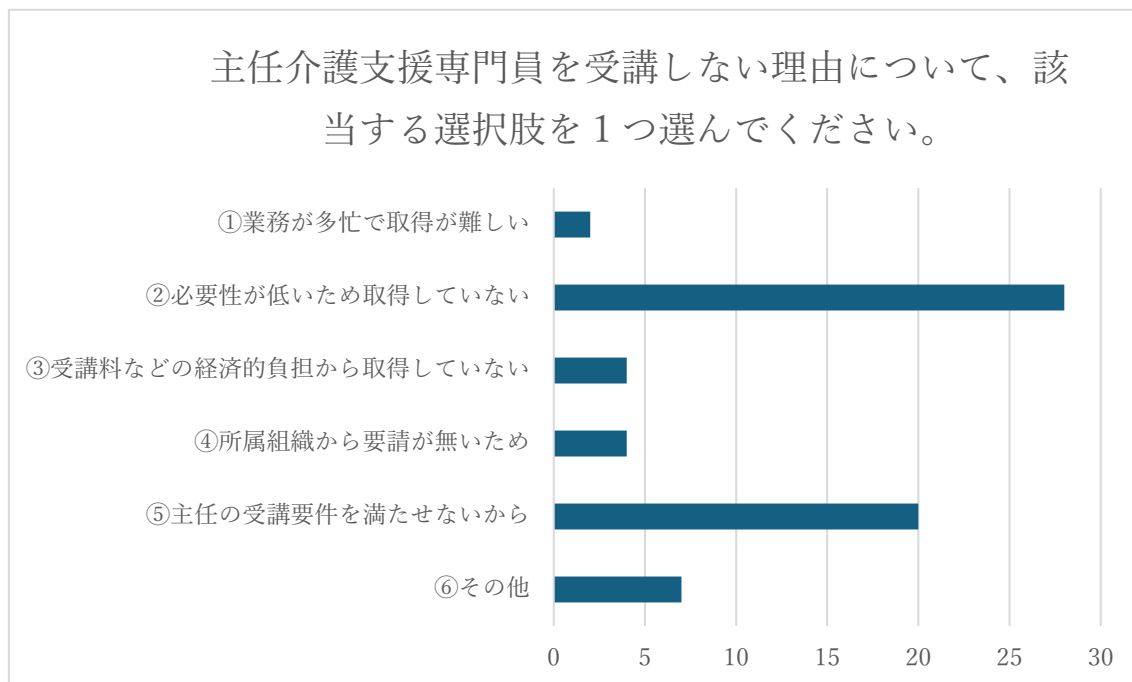
選択肢	回答数
①取得している（現在、研修受講中の方を含む）	11
②取得していない	65



主任介護支援専門員の取得状況について	介護支援専門員としての実務経験年数	回答数
①取得している（現在、研修受講中の方を含む）	②1年以上5年未満	1
①取得している（現在、研修受講中の方を含む）	③5年以上10年未満	2
①取得している（現在、研修受講中の方を含む）	④10年以上	8
②取得していない	①1年未満	7
②取得していない	②1年以上5年未満	19
②取得していない	③5年以上10年未満	17
②取得していない	④10年以上	21
②取得していない	(空白)	1

* 主任介護支援専門員を受講しない理由について、該当する選択肢を1つ選んでください。

選択肢	回答数
①業務が多忙で取得が難しい	2
②必要性が低いと取得していない	28
③受講料などの経済的負担から取得していない	4
④所属組織から要請が無いから	4
⑤主任の受講要件を満たせないから	20
⑥その他	7

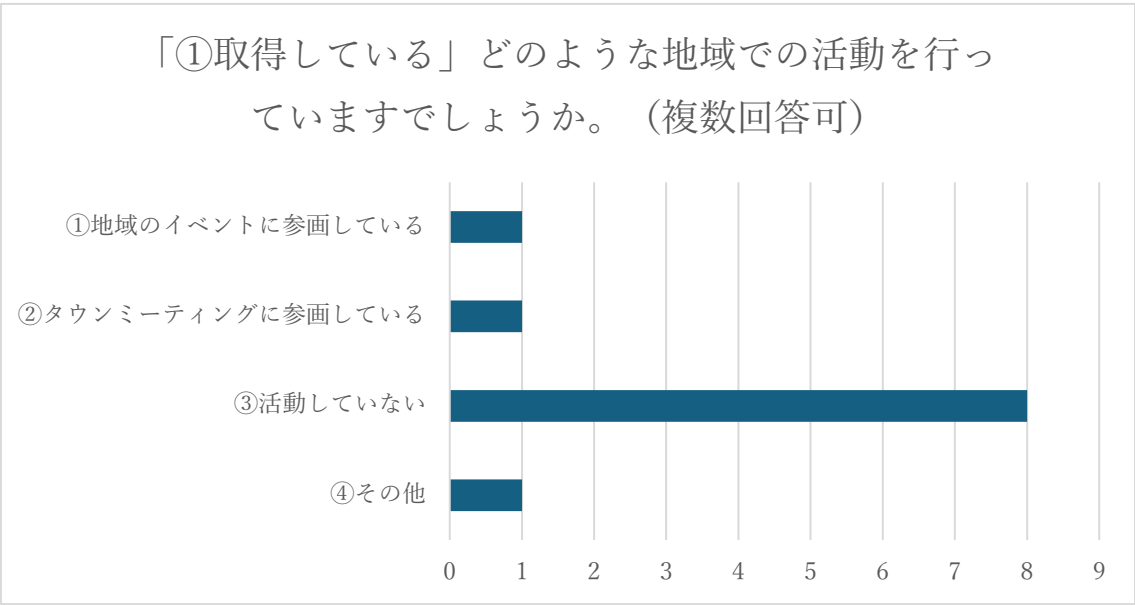


* 「⑥その他」 具体的にご入力をお願いいたします。

- ・ ケアマネ業務から離れたため。
- ・ 以前、1度研修を受講したが、研修内容が厳しくて、自分には無理だと思ったため
- ・ 居宅管理者の受講枠を圧迫しないため。
- ・ 経験年数が足りないため
- ・ 今年度取得する予定でしたが、課題提出の仕方がわからず、相談できる人がいなかった為諦めました。特に居宅経験が無いケアマネには講義を受けてから提出できたら挑戦したいケアマネがいるように思います。
- ・ 今年度又は来年度受講しようと思っている（更新研修と重なるので検討中）

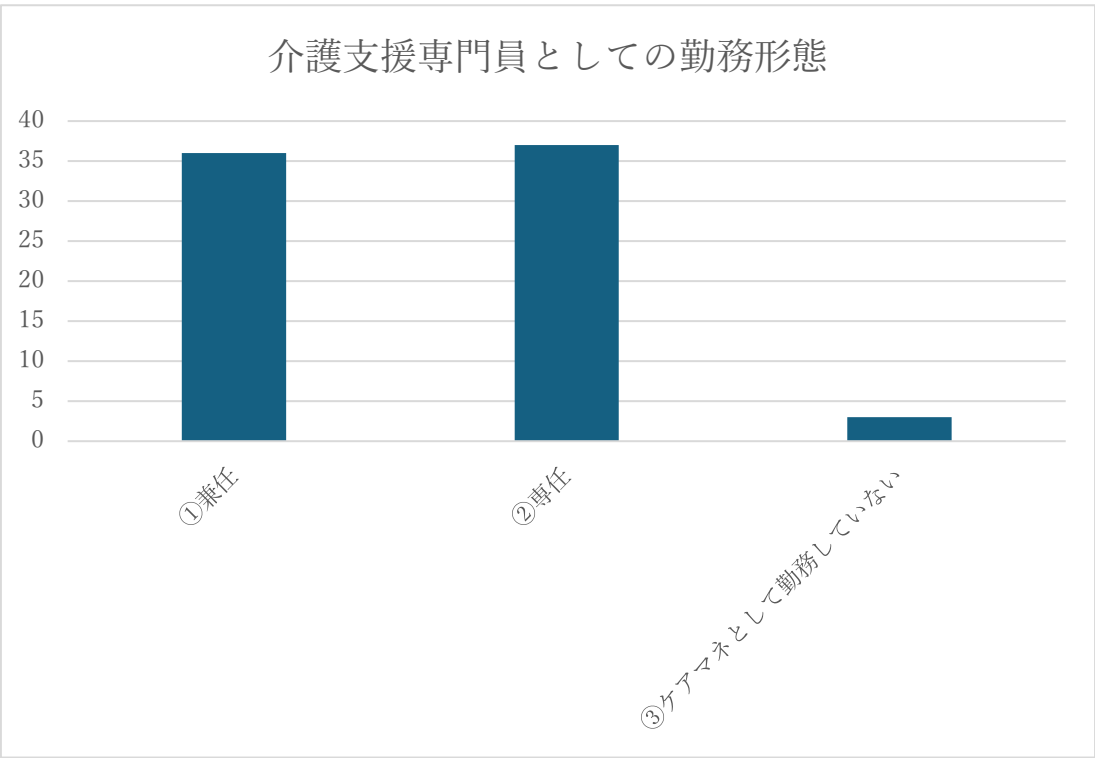
* 「取得している」 どのような地域での活動を行っていますでしょうか。

選択肢	回答数
①地域のイベントに参加している	1
②タウンミーティングに参加している	1
③活動していない	8
④その他	1



介護支援専門員としての勤務形態

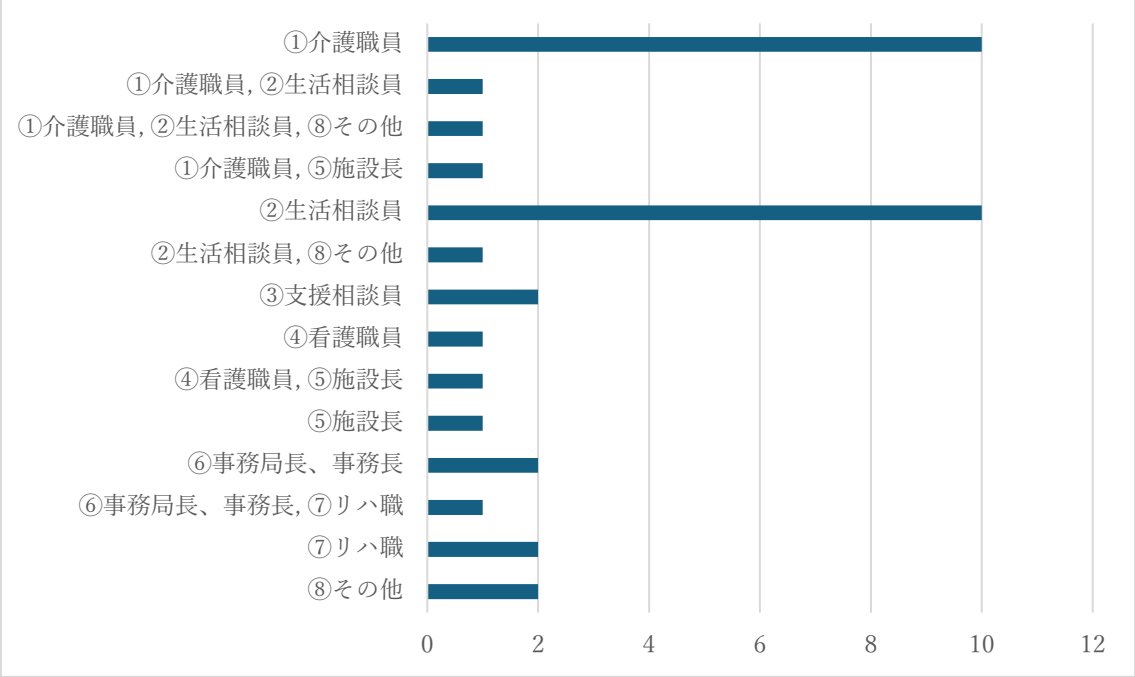
選択肢	回答数
①兼任	36
②専任	37
③ケアマネとして勤務していない	3



*「兼任」を選択した方のみ、兼任の職種について、該当する選択肢を全て選んでください。
(複数回答可)

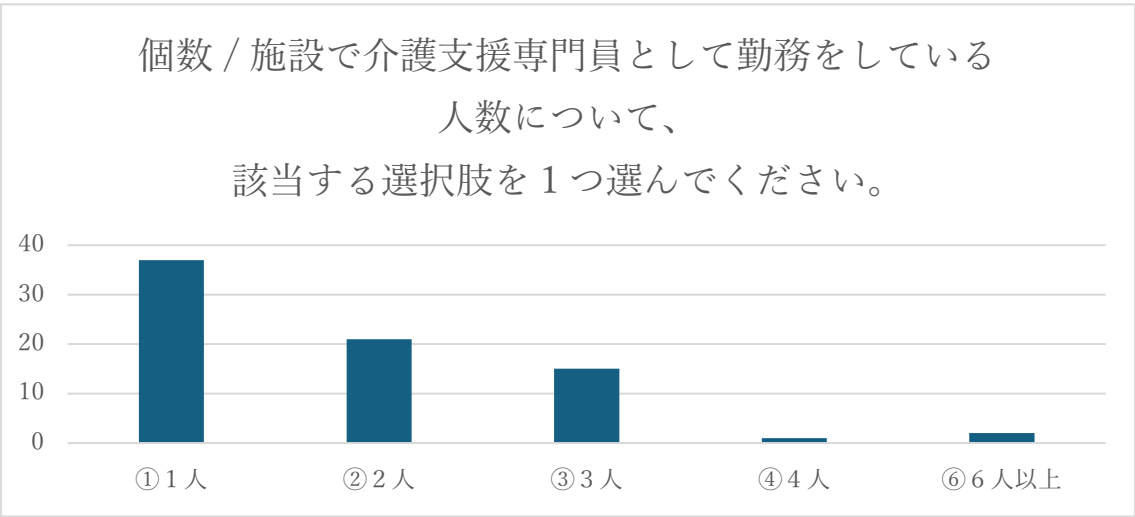
選択肢	回答数
①介護職員	10
①介護職員, ②生活相談員	1
①介護職員, ②生活相談員, ⑧その他	1
①介護職員, ⑤施設長	1
②生活相談員	10
②生活相談員, ⑧その他	1
③支援相談員	2
④看護職員	1
④看護職員, ⑤施設長	1
⑤施設長	1
⑥事務局長、事務長	2
⑥事務局長、事務長, ⑦リハ職	1
⑦リハ職	2
⑧その他	2

個数 / 「兼任」を選択した方のみ、兼任の職種について、該当する選択肢を全て選んでください。(複数回答可)



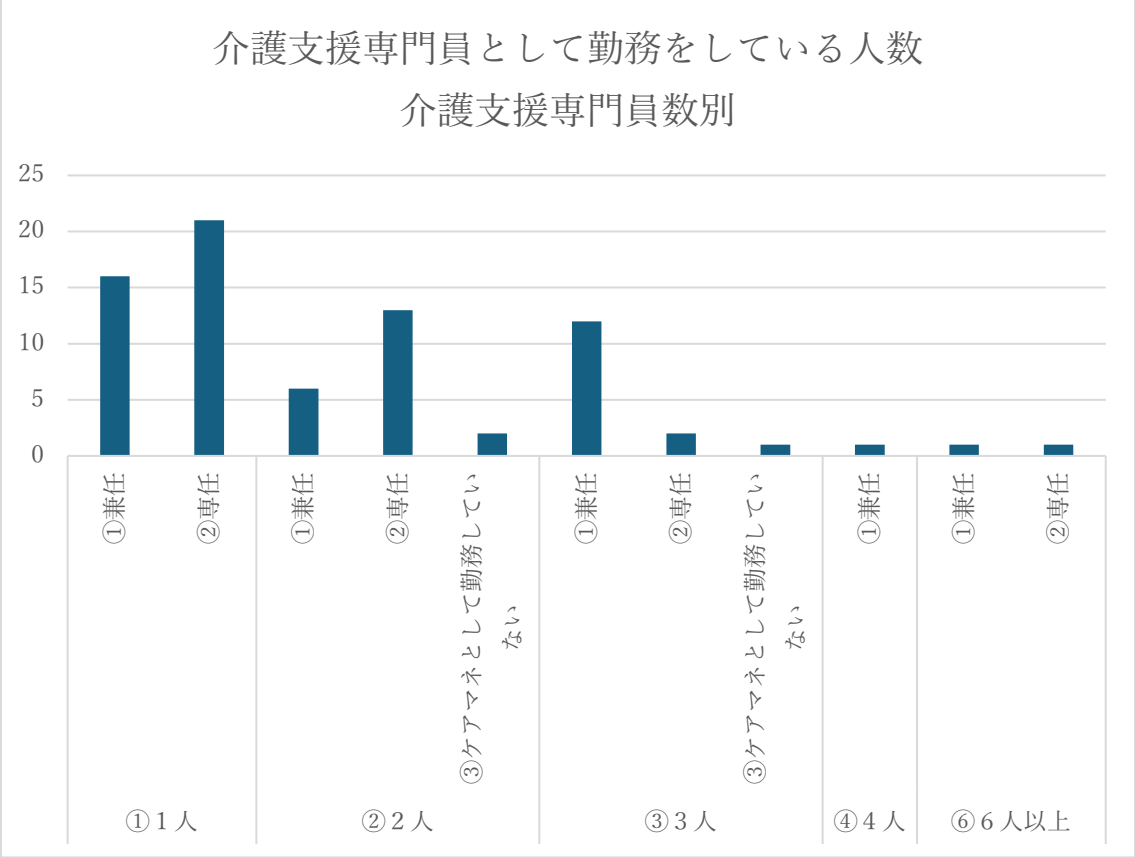
施設で介護支援専門員として勤務をしている人数について

選択肢	回答数
① 1 人	37
② 2 人	21
③ 3 人	15
④ 4 人	1
⑤ 5 人	0
⑥ 6 人以上	2



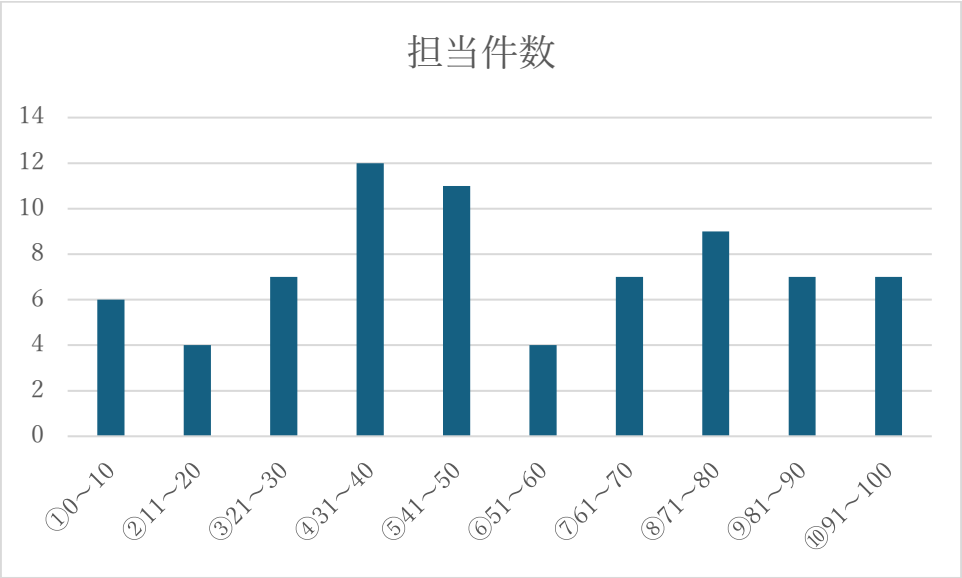
* 施設で勤務する介護支援専門員の人数と勤務形態

施設で介護支援専門員として勤務 をしている人数	勤務形態	介護支援専門員として 勤務をしている人数
① 1 人	① 兼任	16
	② 専任	21
② 2 人	① 兼任	6
	② 専任	13
	③ ケアマネとして勤務し ていない	2
③ 3 人	① 兼任	12
	② 専任	2
	③ ケアマネとして勤務し ていない	1
④ 4 人	① 兼任	1
⑥ 6 人以上	① 兼任	1
	② 専任	1



担当件数

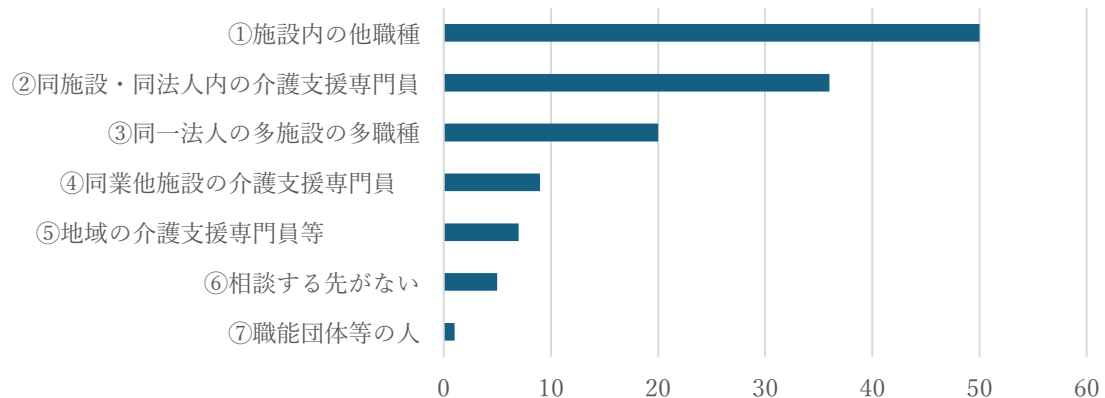
選択肢	回答数
①0～10	6
②11～20	4
③21～30	7
④31～40	12
⑤41～50	11
⑥51～60	4
⑦61～70	7
⑧71～80	9
⑨81～90	7
⑩91～100	7



相談先

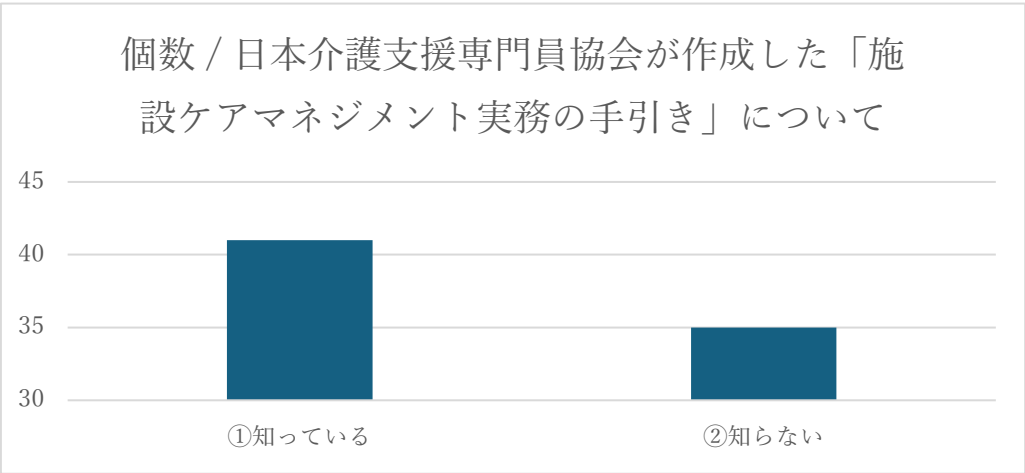
選択肢	回答数	割合
①施設内の他職種	50	65.8%
②同施設・同法人内の介護支援専門員	36	47.4%
③同一法人の多施設の多職種	20	26.3%
④同業他施設の介護支援専門員	9	11.8%
⑤地域の介護支援専門員等	7	9.2%
⑥相談する先がない	5	6.6%
⑦職能団体等の人	1	1.3%

業務で困ったことがあったときの相談先について、
該当する選択肢選んでください。（複数回答可）



日本介護支援専門員協会が作成した「施設ケアマネジメント実務の手引き」について

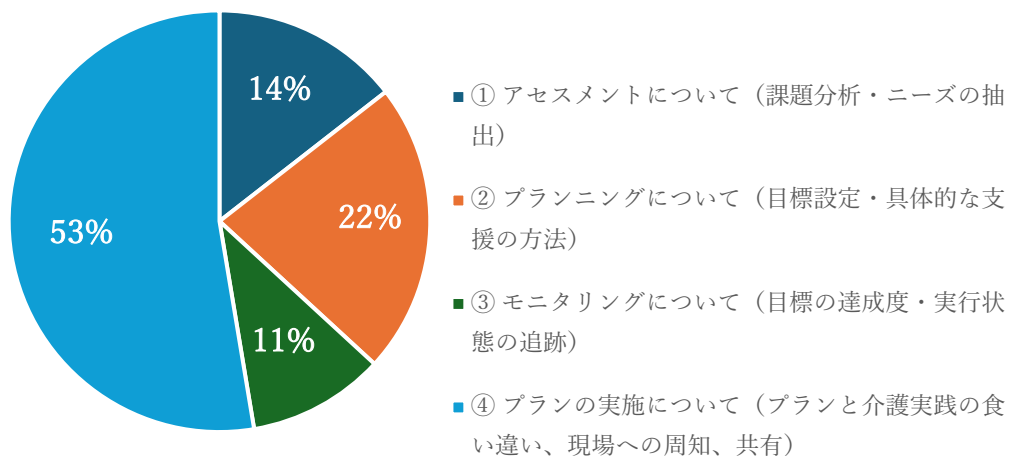
選択肢	回答数
①知っている	41
②知らない	35



ケアマネジメントのプロセスで学びたいことについて

選択肢	回答数	割合(%)
① アセスメントについて（課題分析・ニーズの抽出）	11	15.6
② プランニングについて（目標設定・具体的な支援の方法）	17	22.1
③ モニタリングについて（目標の達成度・実行状態の追跡）	8	10.4
④ プランの実施について （プランと介護実践の食い違い、現場への周知、共有）	40	51.9

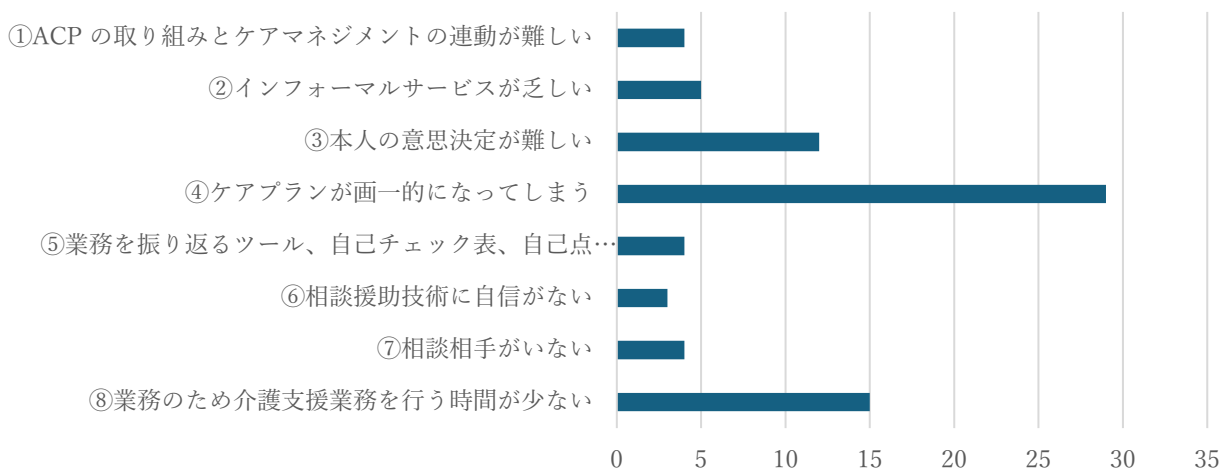
個数 / ケアマネジメントのプロセスで学びたいことについて、もっとも該当する選択肢を1つ選んでください。



ケアマネジメントを取り巻く課題について

選択肢	回答数
①ACP の取り組みとケアマネジメントの連動が難しい	4
②インフォーマルサービスが乏しい	5
③本人の意思決定が難しい	12
④ケアプランが画一的になってしまう	29
⑤業務を振り返るツール、自己チェック表、自己点検表がない	4
⑥相談援助技術に自信がない	3
⑦相談相手がいない	4
⑧業務のため介護支援業務を行う時間が少ない	15

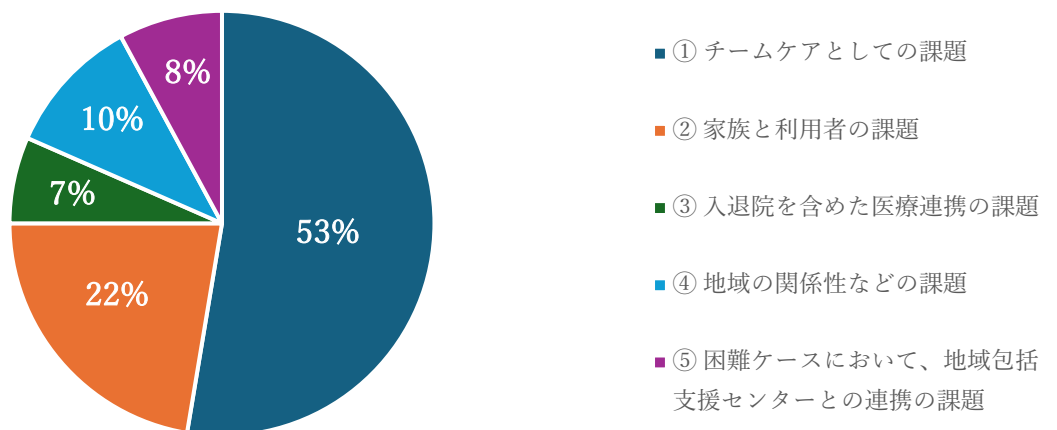
ケアマネジメントを取り巻く課題。



チームアプローチにおいて、課題と思われること

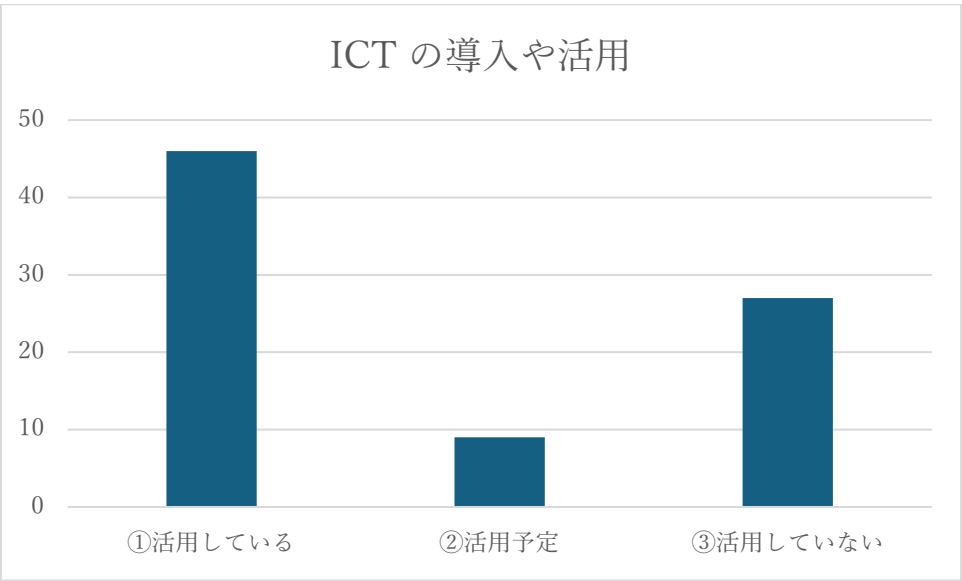
選択肢	回答数	割合(%)
①チームケアとしての課題	40	53
②家族と利用者の課題	17	22
③入退院を含めた医療連携の課題	5	7
④地域の関係性などの課題	8	10
⑤困難ケースにおいて、地域包括支援センターとの連携の課題	6	8

チームアプローチにおいて、課題と思われること



ICT の導入や活用

選択肢	回答数
①活用している	46
②活用予定	9
③活用していない	27



ICT の活用状況

「①活用している」を選択した方のみご回答ください。 どのような場面で活用していますか？（複数選択可）	
①アセスメント	5
①アセスメント, ②ケアプラン原案作成, ③サービス担当者会議, ④モニタリング・評価	1
①アセスメント, ②ケアプラン原案作成, ③サービス担当者会議, ④モニタリング・評価, ⑤情報共有・多職種連携	3
①アセスメント, ②ケアプラン原案作成, ③サービス担当者会議, ④モニタリング・評価, ⑤情報共有・多職種連携, ⑥利用者・家族への説明	2
①アセスメント, ②ケアプラン原案作成, ③サービス担当者会議, ④モニタリング・評価, ⑤情報共有・多職種連携, ⑥利用者・家族への説明, 事業所内のミーティング、在宅勤務など	1
①アセスメント, ②ケアプラン原案作成, ④モニタリング・評価	2
①アセスメント, ②ケアプラン原案作成, ④モニタリング・評価, ⑤情報共有・多職種連携	1
①アセスメント, ②ケアプラン原案作成, ④モニタリング・評価, ⑤情報共有・多職種連携, ⑥利用者・家族への説明	1
①アセスメント, ②ケアプラン原案作成, ⑤情報共有・多職種連携	2
①アセスメント, ③サービス担当者会議, ④モニタリング・評価	1
①アセスメント, ③サービス担当者会議, ④モニタリング・評価, ⑤情報共有・多職種連携	1
①アセスメント, ④モニタリング・評価	1
①アセスメント, ④モニタリング・評価, ⑤情報共有・多職種連携	1
②ケアプラン原案作成, ③サービス担当者会議	1
②ケアプラン原案作成, ⑤情報共有・多職種連携, 支援経過や会議の記録	1
②ケアプラン原案作成, 記録ソフト	1
③サービス担当者会議	1
③サービス担当者会議, ⑤情報共有・多職種連携	1
③サービス担当者会議, ⑤情報共有・多職種連携, ⑥利用者・家族への説明	1
④モニタリング・評価	1
④モニタリング・評価, ⑤情報共有・多職種連携	1
④モニタリング・評価, ⑤情報共有・多職種連携, ⑥利用者・家族への説明	1
⑤情報共有・多職種連携	6
⑤情報共有・多職種連携, ⑥利用者・家族への説明	7
⑤情報共有・多職種連携, ⑥利用者・家族への説明, 外部との連携	1

項目ごとの回答数

選択肢	回答数
① アセスメント	22
② ケアプラン原案作成	16
③ サービス担当者会議	13
④ モニタリング・評価	18
⑤ 情報共有・多職種連携	30
⑥ 利用者・家族への説明	14
その他	4

研修やスキルアップに関する課題（複数回答）

項目	回答数	回答者比率
② 施設介護支援専門員を対象とした研修が少ない	58	76.3%
① 法定研修が施設介護支援専門員向けのカリキュラムになっていない	52	68.4%
③ 研修参加に職場の理解が得られにくい	9	11.8%
④ オンライン研修の環境が整っていない・対応できない	7	9.2%
その他自由記載	5	6.6%

事業所として『LIFE』の登録状況

選択肢	回答数
①登録し、入力をしている	62
②登録予定	5
③登録していない	15

フィードバックの活用について

選択肢	回答数
①活用している	16
②活用していない	46

